

福岡県中学校バレーボール大会感染予防ガイドライン

R4. 4. 29

- (1) 福岡県中学校体育連盟「福岡県中学校体育連盟主催大会の開催にあたっての感染拡大予防ガイドライン」、公益財団法人日本バレーボール協会「バレーボール競技に関わる大会等再開時のガイドライン」、一般財団法人福岡県バレーボール協会「バレーボール再開に向けての共有事項」に沿って感染症対策を講じる。
- (2) 感染症対策について、生徒及び保護者に十分な伝達を行う。
- (3) 各学校それぞれ1本以上アルコール消毒液（噴霧できる容器に校名記名）を持参し、適宜消毒を行う。
- (4) 学校出発前に検温及び健康観察を実施し、発熱（平熱より高い）している生徒や同居家族及び身近な知人に感染が疑われる方がいる場合は引率しない。指導者も同様。受付で体調確認表（大会当日提出用）を提出する。
- (5) 会場での観戦及び応援ができるのは、1チーム12名以内。
(※ただし、感染状況によっては無観客を含め変更になることもある。)
入館許可証着用者12名以内のみが当該チームの試合のプロトコルの時間から試合終了まで観戦できる。学校関係者（管理職）も12名に含まれる。
入館者についても自宅で検温を行い、発熱がある場合には、会場には入らない。
入口に受付を設置し、入館者の記名や健康状況が記入できるようにする。
- (6) 応援席（ギャラリー）は試合を行っているチームの関係者12名以内のみが利用する。
- (7) 応援席（ギャラリー）にはキープディスタンスの保持を喚起する掲示をする。
- (8) 応援席（ギャラリー）での応援は拍手のみで声援はしない。
- (9) 会場に入れるのは、設定時間の1時間前からとする。（生徒役員で来る生徒はこの限りではない。）
- (10) マスクの着用を確実にすること。
 - ① 試合中以外はマスクの着用を確実にすること
 - ② アップゾーンの選手はマスクを着用すること。
ただし、適切な距離が確保できる場合はその限りではない
 - ③ ベンチスタッフも試合中マスクを着用すること。
- (11) 個人用衛生バック（タオルやマスクを自己管理する袋またはバック）（飛沫接触を避けるため）を各自準備し、各自適切に使用すること。
- (12) 応援は拍手のみで声援はしない。
- (13) 開会式は行わない。
- (14) 閉会式は男女2チームだけが参加し、マスクを着用する。
- (15) 競技以外（式典、応援及び感染、役員）ではマスク着用を敢行する。
- (16) 試合間に、ラインズマンフラッグ、得点板、パイプ椅子の消毒を行う。
- (17) 飲料水の共有はしない。
- (18) 集合時は密集状態にならないようにする。
- (19) 選手間や指導者間（審判含む）での握手は自粛する。
- (20) 試合開始前、試合終了後の挨拶ではネット前挨拶は行わず、直接ベンチに戻る。
- (21) 選手交代（クイック・サブスティチューション）では、対象選手の手が接触しないようにする。
- (22) 得点時などの歓喜や円陣に伴う接触（ハイタッチ等）をしない。
- (23) 大会終了後、使用した施設（トイレや手すり等）の消毒（アルコール消毒液の噴霧）を専門部で実施する。